

\*\*\*\*\*

# 昭和こじょう会便り

45号

\*\*\*\*\*

2006年9月号



鶴舞公園 噴水塔

発行 : 名古屋市高年大学鯉城学園～昭和鯉城会

## 45号発行にあたって

昭和鯉城会会長 (18期) 後藤 昇三

9月とはいえ名古屋特有の暑さが続いています。会員の皆様にはご健勝のことと存じ上げます。44号から45号までの3ヶ月間にいろいろな行事、催事がありました。まとめてご報告します。

6月3日に荒子公園周辺の清掃クリーンキャンペーンが行われ、昭和鯉城会も20名という多くの参加者があり中川区に次いで2番目に多い参加者でした。

昭和鯉城会会員のボランティア精神の高さの証しだと自負しています。

当日は晴天で暑い日でしたが半日大変ご苦労様でした。

また、6月13日には“なごやかハウス福原”で名古屋朝顔9株をプランタン3個に定植するボランティア活動を行いました。

次いで6月21日には区役所で耐震対策出前トークがあり、33名の参加者でした。

トークの後半に紙模型の家屋で筋交1本有る、無しの実験を行って、1本の木材だけで壁面の強度がこんなに違うのかと耐震について勉強をしました。

お互いに自分の家のことですから、各自でこれを参考にして対策を考えられることだと思います。

7月21日はアサヒビール工場見学があり雨の中にもかかわらず12名の参加者でした。

45号の原稿締切り後には次の様な行事が行われます。

- \* 9月22日(金)～9月24日(日) 昭和鯉城会の趣味の作品展
- \* 10月1日(日) 鶴舞公園にて昭和区民まつり
- \* 10月20日(金) 瀬戸市、海上の森ハイキング
- \* 11月11日(土) 栄地区清掃クリーンキャンペーン

会員の皆様にお知らせします。

この度、昭和鯉城会のノボリ旗を作成いたしました。

いままで学園協賛の行事では会場に黄色の20周年記念の旗が林立しており、昭和鯉城会の集合場所が分かりにくいとのご意見が多く寄せられており、また鯉城会としても丁度作成を検討中でもあり、良いタイミングで作ることが出来ました。

昭和区の区花である菖蒲の色を基調にして、昭和区のシンボルマークを入れた立派なノボリ旗です。これからはこの旗を目印に集まって下さい。

我々年代は健康が一番大きな財産です。

体には充分気をつけて毎日を楽しく暮らして生きましょう。

以上

# 活動結果報告

(平成 18 年 7 月より 9 月の主な活動)

## \* 会議

- 7 月 1 日 (土) 昭和区福祉協議会 (後藤会長)
- 7 月 5 日 (水) 7 月度役員会
- 7 月 10 日 (月) 鯨城会幹事会 (市之瀬副会長)
- 7 月 26 日 (水) 昭和環境事業所 (後藤会長)
- 7 月 29 日 (土) 昭和区福祉協議会 (後藤会長)
- 8 月 2 日 (水) 8 月度役員会
- 8 月 24 日 (木) 鯨城会代議員会 (大野副会長)
- 9 月 13 日 (水) 9 月度役員会

## \* 行事

- 7 月 21 日 (金) アサヒビール名古屋工場見学
- 8 月 18 日 (金) 寄贈品 (陶芸品) 値段付け作業 (ライトハウス)
- 8 月 20 日 (日) 福祉まつり (昭和区役所)
- 9 月 22 日 (金) ~24 日 (日) 昭和鯨城会の趣味の作品展

## \* その他

- 9 月 16 日 (土) 『昭和こじょう会便り』 45 号製本、配布

### —目次—

表紙	(写真) 鶴舞公園	p 10	体操のすすめ
p 2	45 号発行にあたって	p 11	スイスを訪ねて
p 3	活動結果報告	p 12	美術館巡り
p 4	今後の活動計画	p 13	リズム体操クラブ
p 5	グリーンキャンペーン なごや 2006 に参加して	p 14	グランドゴルフ
p 6	市政出前トーク	p 15	俳句
p 7	アサヒビール工場見学	p 16	ニュース
p 8	音訳ボランティア		
p 9	クラブOB会報告		

## 今後の活動計画

10月～12月の行事予定をお知らせします。  
下記の情報とチラシをご覧の上、ぜひご参加下さい。  
各月とも参加は自由で、事前の予約は必要ありません。

### 10月1日(日) 区民まつり 主催 昭和区役所

8月の福祉まつり同様ボランティア団体として協賛参加します。会員の皆さんの協力で製作した土鈴の絵付けと会員有志の厚意による寄贈陶芸作品のチャリティー販売を行います。家族、友だちお誘いのうえ是非お祭りをお楽しみください。

\*場所 鶴舞公園 時間 午前10時～午後3時30分

### 10月20日(金) 瀬戸市 海上の森ハイキング

5月に計画致しましたが雨天のため中止となりました。そこで再度企画致しました。  
秋の海上の森は春とは違った風情をみせ、静かでゆったりして良いところです。一緒に散策を楽しみませんか。

\*集合場所、時間 愛知環状線 山口駅改札口 午前9時30分

### 11月20日(月) 昭和区散策

滝川、八事の坂のある町をボランティアガイドの案内で2時間ほど散策します。

\*集合場所、時間 地下鉄 鶴舞線 杵中駅改札口付近 午前9時45分

### 12月13日(水) 暮雨巷見学と周辺散策

雨の夕暮れ時の景色が気に入りここを暮雨巷と名付けた俳人加藤暁台の住まい跡の見学と周辺を散策します。

\*集合場所、時間 バス停留所 田辺通2丁目付近 午前9時45分



さあ～皆さん 秋です！  
健康のために歩きましょう

# ボランティア

## 「グリーンキャンペーン なごや 2006 に参加して」

19 期（地域） 磯村 良治

全市一斉のグリーンキャンペーン「町を美しくする運動」として6月3日（土）に荒子公園周辺の清掃ボランティアが行われた。

地下鉄高畑駅下車、荒子公園グランド集合との事で「あおなみ線」に始めて乗車して荒子南駅で降りた。道の不案内で方向音痴に陥り通行人に聞きながら9時30分にはやっと会場に到着した。

名古屋都市美化連盟、中川区の安心安全で快適な街づくり協議会、荒子学区の各種団体等、ボーイスカウト等々――そして我が鯉城学園軍団、学生協議会役員、在校生各学科生、全市の各区鯉城会員等、今年は新調した各学科別のぼりを押し立て、大勢の人波、メーデーを思わせる、のぼり、旗、集団に圧倒された。

幸い天候にも恵まれ、セレモニーの名古屋市長代理挨拶に続き、公職者、各団体役員挨拶があり、各団体に清掃区域の指定がありいよいよ作業開始となる。

昭和鯉城会からは後藤会長はじめ会員 20 名程が参加して、荒子公園周辺の「あおなみ線」荒子駅近くの道路清掃である。ごみハサミ、ビニール袋を持ち歩き清掃する。目立つ程のごみは無かったが、路上にやたら煙草の吸殻が多い。自動車運転者、歩行者の心無い喫煙者がポイ捨てをするのであろうか――

名古屋の主要道路は路上禁煙、吸殻ポイ捨て禁止であるのに――ここでは？

私は18年前、ふとしたキッカケで禁煙者になったけれども、私もポイ捨てをやっていただろうかと当時を思いつつ吸殻拾いをする。

戦後の流行語で「モク拾い」の言葉を知っていますか？

作業1時間半後、グランドのごみ集積場に帰ると古タイヤ、粗大ごみ、電気製品まで一杯のごみの山積み、こんなに不法ごみが投棄されているのかと改めて思った。京都議定書、地球温暖化、CO2 減量、名古屋市のごみ減量、美化運動に本日参加していい汗を流し、いい体験をして、環境にも関心を持ち、快適なまちづくり運動に参加出来たことを感謝したい。

### \* ポイ捨て防止条例

平成11年4月「名古屋市空き缶等の散乱の防止に関する条例」が施行されました。

この条例は、空き缶等の散乱の防止に関して、市・事業者・市民の責務を明らかにし、環境の美化を図って、快適な生活環境の美化を確保する事を目的としています。

### ■ 投棄の禁止

道路、広場、公園、河川、港湾等の公共の場所に、空き缶等（缶、びん、ペットボトル、たばこの吸殻、チューインガムのかみかす、紙くずなど）をみだりに捨ててはならない。

# 活動レポート

## 市政出前トークに参加して

19期（福祉） 酒井 昭彦

6月21日（水）午前10時より、昭和区役所6階第4会議室において「あなたの家は大丈夫？」～地震に強い住宅の話～というテーマで「市政出前トーク」が行われました。講師は、名古屋市住宅都市局建築指導課耐震対策係の高橋和治さん・池田弥生さんのお二人で、33名の方々が参加されました。

最初に地震の仕組み～最近の国の取り組みの話のあと、近年の地震被害の話があり1995年1月の阪神・淡路大地震の再現ビデオを見ました。

揺れのすさまじさは慄然とするばかりで恐怖を覚えました。（死者・行方不明合計が6435人）圧死による死者が84%と言うのもむべなるかなと改めて思いました。

家具を固定することの必要性を痛感いたしました。（家具は上部で固定するのが基本）

つづいて「紙ぶるる」の製作と実演を行いました。

厚紙で2階建ての模型をつくり筋交いが入っているか、入っていないかにより倒壊の危険性が全く異なることを実感出来るものでした。

最後に、昭和56年5月（1981年5月）建築基準法が改正される以前の建築物については、無料の耐震診断を行っているなど名古屋市の事業説明があり、リホーム詐欺などに対する注意事項等、盛りだくさんの話があり質疑応答もあつて盛会裏に終わりました。

☆ 「地震は忘れた頃にやって来る」と言われていますが、地震調査研究推進本部、中央防災会議によると、2006年1月から30年以内の地震の発生確率は、東海地震（駿河湾）は87%、東南海地震は60%と高い確率を示しており、いつ発生してもおかしくない状況です。それにしても、我々の（私の）意識は全く遠いところにあります。せめて家具の固定と、非常持ち出し品の確認をしておきたいと思っています。

\* 非常持ち出し品（広報名古屋8月号による）

- ① 食料品（食料は7日分を目安に備えておき、そのうち3日分を非常持ち出し用として準備・点検しておく）
- ② 医療用品（三角巾・包帯など）
- ③ 貴重品（現金・身分を証明出来るものなど）
- ④ 衣料品（下着・タオルなど）
- ⑤ 燃料・照明（懐中電灯など）
- ⑥ 防災用品（ラジオ・電池など）

以上

## アサヒビール工場見学に参加して

19 期（文化） 市川 賢

今年の日本列島は梅雨が長く、各地で豪雨による被害が連日、新聞、テレビで報じられている。 そんな中 7 月 21 日（金）に昭和鯉城会恒例のアサヒビール名古屋工場の見学会が行われました。

毎年多数の参加者があると聞いていましたが、生憎の雨のためか集まったのは 12 名（内女性は 1 名）と初参加の私はちょっと拍子抜けの感もありましたが、それでも 12 名は元気に雨の中をビール工場に向かった。

アサヒビールは、1897 年（明治 30 年）日本初のビアホールをオープンし、1958 年（昭和 33 年）日本初の缶ビールを誕生させるなど歴史も古く、ステンレスの巨大なタンクの並ぶ名古屋工場は敷地面積約 172,000 m<sup>2</sup>（約 52,000 坪）で、1973 年（昭和 48 年）操業の近代的工場で最先端の設備を持ち、地球温暖化防止の為に「完全ノンフラン化」を日本で初めて実現した。

又排出される副産物、廃棄物はすべて新たな資源として再利用している。

そして大麦から麦芽、仕込み、熟成、ビン詰、缶詰、包装が機械とコンピューターを通して行われている。

ビール工場の見学と説明の後、いよいよ試飲会である。

窓から雨を眺めながら「天気だったら、もっとうまいのにな〜」などと勝手なことを言いながら、それでも二杯目、三杯目のジョッキに手を出す楽しい時間でした。

上手なビールの注ぎ方も教わり、今夜から一層おいしいビールが飲めるぞと、まだ降り続く雨の中を帰路に着いた。

### 《昭和鯉城会会員の皆様へ、ボランティア活動にご協力をお願い》

昭和鯉城会といたしましては、ボランティア活動の一環として昨年度よりスタートしました、雑巾、タオル提供運動は昨年度予想を上回る 470 枚の提供を頂き、区内 15 の公共施設等に寄贈し大変感謝をされました。

つきましては、今年度第二回として各会員は本年 12 月始めまでに 1~2 枚の新タオル又は新雑巾を準備いただき、担当ブロック委員が 12 月中旬に“昭和こじょう会便り”をお届けする時に回収に回りますので、宜しくご協力の程お願い致します。 高年大学の卒業生として、ささやかながらも地域社会に貢献しながら過ごしてゆきたいと考えております。

昭和鯉城会 役員一同

## 音訳奉仕ボランティアの思い出

19期（文化） 八神 邦子

久しぶりに「ライトハウス」の名を耳にした。土鈴作りの会場として。私にはふた昔も前の昭和60年代、週に一度この建物の2階へ神妙な面持ちで通った記憶がある。

音訳奉仕のボランティアになる勉強の為にである。腹式呼吸の練習から始まり、音訳に入るまでに数々の難関があった。中でも、イントネーション・アクセントの矯正は辛くて情けなく涙さえ滲ませての受講であった。何しろ生粋の名古屋弁？育ち。鼻濁音に注意すればアクセントはお留守になりイントネーションは更に怪しくなると言った調子で感情を交えず淡々と読み進めるなど至難の業だった。

生来のお喋りの私が講習中には無口な性格になった程。

一冊の本を音訳する難しさは、想像以上だった。添付されている写真・地図や挿絵の説明・解説も視力障害の人に理解できるよう考えねばならない。その上、吹込みをする無音室での機械操作は今と違ってカセットではなく、大きなリールの付いた所謂「録音機」。加えて部屋の使用期間・順番は定められており、テープの操作に手間取ればアツと言う間に制限時間がきてしまった。また、前回の録音と声の調子が異なれば取り直しともなったし-----。アクセント辞典と格闘し、音訳できたのはたった一冊だった。それが私の限界だったのだ。果たしてその一冊がお役に立ったかは今では知る術もないが。

『言葉は人間だけに授けられた偉大な力、正しく綺麗に使いたいもの』との講師の言葉が、「ライトハウス」の名と共に蘇ってきた。

### \* \* 編集部よりの一言

八神さん大変なご苦勞をされましたね。

その頃よりボランティアに興味、実践をされていた事は敬服の至りです。しかし「ライトハウス」を訪れたことで、当時の事柄が鮮明に思い出されてその時の志が今の活動に繋がっている事を思えば、感慨もひとしおだったでしょう。

## クラブOB会ご紹介

### 「鯉城民謡クラブ同好会」の活動

19期（福祉） 余語 司郎

「鯉城民謡クラブ同好会」は、平成10年4月に11期生が卒業と同じに創立され、現在会員数89名の大所帯で毎週木曜日に踊り・謡を交互に金山に有る「音楽プラザ2階の大リハーサル室」で練習に励んでいます。

大学時代にお世話になった謡は坪田一伎美先生・踊りは辻村文子先生が熱心に指導され、本年度加入した19期生18名も慣れ親しんだ多くの曲を先輩の方々と楽しく謡い・踊ります。昨年からはじめた指導者坪田一伎美先生と講師の吉沢一彦先生の主催される『民謡二人会』の発表会に積極的に参加し本年度は6月25日に中川文化小劇場で62名が五部門で精一杯出場しました。早朝より着替え、記念撮影を撮り、発表前の緊張をほぐす語らいをしながら、待つ時間はかなり堪えましたが、終わった後の開放感は素晴らしいものを味わうことが出来ました。又7月25日には、名東区の後援会の後にアトラクションとして民謡クラブの面々がお得意の民謡を謡ったり、踊ったりして若さを披露して、名東区の会員との友好を深めました。

更に本年度末に行われる『ドリーム会』の発表会は責任クラブとの事で、その時出演する種目を決め、練習に励むと共に、関係者一同は他のクラブとの連絡を密にして、成功裏に終われるように準備に忙しくされています。

次に今取り組んでいる活動の中で特筆すべきことは、ボランティア活動です。民謡を通じて身に付けた技能を各団体の総会・デイサービス・福祉施設のアトラクションとして出演する方々が沢山います。自分も楽しいが他の方々にも一緒に謡ったり踊ったりして、楽しんでもらう機会を提供することによって鯉城学園の本来の目的を实践する団体にもなっています。今は民謡クラブとして受けるのではなく、知り合いの方々の要請を受け、気の合う者同士で参加している状態ですが、他の鯉城学園卒業者との連携を図りながら、組織的な活動が出来るようになって行きたいものです。

その一つとして、19期の民謡クラブの有志が中心となって『はげみの会』を立ち上げ、鯉城学園の因幡先生を顧問になってもらい、16名が今活動に向けて特別練習日を設けて励んでいます。更にその輪を広げるように英知を集めているところです。学園側の狙いを発展していきながら、更に自分達で出来る高齢社会での生き甲斐を共に味わいながら、生き生きと過ごす日常の有り方を追求して行きたいものです。ゆくゆくは各種団体と共演のかたちで友好親善を図るように、施設訪問をしつつ共に生きる喜びを体験して行きたいものです。

他のクラブで活動されている方でも、その趣旨に賛同される方は気軽に声を掛けていただき、一緒に参加する機会を持ちましょう。たまたま私は、次年度の福祉科の協議委員でもあるので、全体の動きを見ながら、組織的な活動に取り組める方策をまとめて行きたいと願っています。

以上

## 体操のすすめ

19 期（地域） 山本 勲

高年大学を卒業したら、地域においてボランティア活動に積極的に参加するように勧められた。

元気な皆さんも何らかのボランティア活動に参加されている事と思います。私の場合は、西区栄生に在る産業技術記念館で時々お子様相手のイベントがあると出かけて行き、手作りの模型や道具遊びに熱中している。親子ずれの家族や小学生の社会見学など、大勢のお客様に出会い暫し楽しいひと時を過ごしています。昭和一桁の高齢者にも拘わらず、今も尚地域社会の仲間に入れて頂き、こうして元気に活動が続けられる幸せを感じている 1 人です。

私が思うに、その源は毎朝の体操にあると思っている。ハッピーリタイア後、自宅近くを散歩していたが、あるとき鶴舞公園に足をのぼしたところ、ラジオ体操に出会った。以来、休むことなく通い続けること 7 年となり、現在は鶴舞公園がんばろう会の会長として、この 4 月から努めることになった。

今やわが国は、世界一長寿の国となり本当に元気な高齢者が益々増え続けている。これは大変幸せな社会だと思うが、その反面国民医療費の増加で分かるように健康からかけ離れた方も多くおられることも事実でしょう。

でも、加齢と老化は誰もが避けては通れない。しかし、衰え行く身体機能の進行を遅らせる事が出来ればこんな有難い事は無い。健康体操は全身をまんべんなく発達させるので、心身共に良化し健康年令を持続させる効果があると言われてしています。

こんな素晴らしい健康体操に是非皆さんのご参加をお待ちします。毎朝 6 時 15 分から鶴舞公園奏楽堂周辺に集まっていますので、試しに一度見物がてら現地にお越し下さい。以上

### \*\*編集部よりの一言

鶴舞公園に 7 年間皆勤とは頭が下がります。お近くの方は是非参加されては如何でしょうか。ますますのご活躍を！



### スイスを訪ねて

18 期 (国際) 大野 敏博

以前から憧れていたスイスへの旅が実現した。

それはセントレアからルフトハンザドイツ航空で、フランクフルトまでの 11 時間の長いフライトから始まった。途中シベリア付近の上空で、2~3 時間ぐらい飛んでも延々と続く人の住めない不毛の大地を見た時、つくづく地球の広さを感じた。

マイエンフェルトのハイジの里は、時が止まった様なのどかな情景に身をおく事になる。ヨハンナ・シュピーリが書いたハイジが、今ここに現れてくるような錯覚におそわれる程静かで、まるでおとぎ話の世界の様なすばらしい風景だ。

サンモリッツからグリンデルワルト迄は、人気の氷河特急に乗り雄大な山々と緑の絵の具を一面に流したような谷間を走る、4 時間の列車の旅は退屈をする暇もなく進んでゆく——ふと気がつけば村に電線は無く、どの家も洗濯物を干していない、そして家の窓には必ず色とりどりのゼラニウムが飾られている。

ゼラニウムが放つ香気が虫除けにもなるとのことであるが、それにしても、国を挙げての環境、観光への努力と心づかいは敬服に値する。

グリンデルワルトからアイガー北壁を眺めながら、ヨーロッパ最高地点の鉄道駅であるユングフラウヨッホに着く。この展望台から世界遺産アレッチ氷河を見学することになるが、この高速エレベーターや観光施設は今から 100 年も前に計画され、その後 25 年の歳月をかけて完成したという。

観光に対する考え方と技術力には驚嘆させられる。

マッターホルンの麓の町ツエルマットはガソリン車が禁止され、電気自動車と馬車が交通手段となる。それもあってか町並みは落ち着いてとても清潔な町だ。

翌朝、マッターホルンの先端に朝日が輝き黄金色に染まってゆく様子は、この世のものとは思えない程の神々しさで、胸の震えるような感動を覚えた。

これからもあのシーンを思い出す度に、心が豊になることだろう。

雲ひとつ無い、紺碧の空に聳えるマッターホルンを見ながら、又可憐な高山植物に囲まれながらの 1 時間程のハイキングはまさに至福の時間であった。

最後にシャモニーのモンブランを観光してこの旅は終了することになるが、3842m の展望台はさすがに空気も薄く、少し急ぐと息苦しくなるくらいだ。

旅行中本当に天気に恵まれ、愉快的仲間とも出会い、想像以上に楽しく中身の濃い旅行であった。目に見えない幸運の女神にいくら感謝してもしきれない程だ。

それにしても、日本人観光客の多いことには今更ながら驚いた。本当に多い！

丁度サッカーW杯の決勝リーグと重なり、ホテルのテレビでポルトガルがイングランドにフランスがブラジルに勝利した放送をライブで見ることが出来た。

ファンが国旗をかざして、車を飛ばしながら挙げる歓声とクラクションの音が、夕闇に吸い込まれていった。

## 美術館巡り

18期(地域) 松原 信昭

今年4月に18期地域学科が同好会を立ち上げた。美術館巡り、ハイキング、食事会、グランドゴルフ等8種の同好会に153名が登録した。43名のメンバーであるが、複数の同好会に登録出来るのでこの数になったのである。7月10日現在既にハイキング3回、美術館巡り2回実行した。美術館巡りの第一回は岐阜県立美術館と金華山麓の加藤栄三・東一記念美術館である。

5月24日9:00JR金山駅に集合、9:19発米原行き特別快速に乗車、西岐阜駅9:46に到着後“ふれあいバス”(無料)で岐阜県立美術館まで5分で到着した。

岐阜市郊外約1万2千本の樹木に囲まれ北欧の風景さながらの前庭でマイヨール作の「地中海」を背景に早速記念写真を撮る。今日の参加者男女各3名計6名を美術館の美人学芸員M女史がにこやかに出迎えてくれた。同好会幹事S氏の手配は行き届いている。M女史の1時間に亘るレクチュアは当館が特に力を入れて収集したオディロン・ルドン(1840-1916)についてであった。

彼の190点余の油彩画、石版画、デッサンのコレクションはその数と質において国内はもとより国際的にも高く評価されているとの事。そして印象派のモネ、ルノワールと同時代のルドンが彼等とは正反対の世界を求めた、即ち彼の描く世界は気球のように空を浮遊する目玉、ゲゲゲの鬼太郎の「目玉親父」を思わせるものや、人間の顔をした花を咲かせる植物、笑う蜘蛛など木炭による“黒”の芸術は怪奇に満ちたものである。彼は1890年“黒”の画家として名声を得るが突如色彩の画家へと変身する、即ちギリシャ神話の場面や花瓶の花を眩しいほどの色鮮やかさで描いている。

ルドンを理解して第2室に移る。そこは「キシオ・ムラタ特集」で、彼独特のメキシコならではの強烈な色彩と構図特に(楽器のある静物)(遺跡の祭典)は素晴らしい出来である。さらに第4室は「陶芸特集:小山富士夫」の(種子島茶碗銘柴垣)、

(班唐津水指)の解説を最後に有意義な学芸員ならではの高度な説明に私達は大満足。館内の食堂の休店が幸いして素晴らしいランチを美術館南の「サンピア岐阜」で楽しむことが出来た。

美術館裏から岐阜路線のバスで岐阜公園まで乗り換えなしで25分(200円)、日中友好公園を左手に三つの滝のある信長の庭を右手に金華山へのロープウェイを目指し数分、漆喰の白壁と平板瓦の屋根という土蔵風の作り、これが長良川鵜飼、金華山をこよなく愛し、それを題材に描いた多数の作品を展示する「加藤栄三・東一記念美術館」である。入場料は500円、展示品は3ヶ月毎に入れ替えされるとの事。

当日は運よく栄三が描いた鵜飼のフィナーレを迎えた五艘の鵜舟が赤々と篝火を川面に浮かべる「鵜飼総がらみ」を観る事が出来た。

第二展示室では地元作家の作品を展示している。今回は「染色の美を追い求めて、堀菱子型絵染展」で非現実的な抽象的空間を創り出せるよう模索し追及したとのこと。正直私達には良く分からない世界であった。金華山を今回は下から見上げるにとどめ記念写真を撮り帰路についた。長い一日だが楽しい一日であった。

## 昭和競城リズム体操クラブニュース

### 近況報告

代表 14期 近藤 勇雄

リズム体操クラブも先生、会員各位のご協力で順調に運営しております。  
 今回のご報告はまず懇親会の開催です。例年夏の梅雨明け時に行っていましたが、今回はワールドカップの年で開催国がドイツという事で7月26日、浩養園の特別企画「ドイツ料理とドイツ地ビールのみ放題」というコースで思う存分ビール、ワインを楽しみました。参加者は103名でこれまでの80名台より大幅に増え好評でした。次のご報告はスポーツセンターの管理業務が4月から名古屋市の方針で民間業者に委託された事です。この事はセンターの開設以来顔見知りの方々が突然消えて、新しい人々に変わったという事で当方も戸惑っています。

10月以降の会場確保にも早速影響が出てきており、我々事務局にも対策を迫られてきております。目下昭和区在住の方でカードをお持ちでない方にカードを取得して頂いて、来年度上期の申し込みをして頂くことを考えております。

会場確保の問題はこれまで余り苦勞をしておりませんでした。これからは真剣に取り組まないとクラブの運営が難しくなりそうです。

さて10月以降の練習日が確定しましたのでご連絡いたします。

(リズム体操練習日～いずれも水曜日午後)

平成18年	10月	4	11	18	25	
			第一競技場	第一競技場		
	11月	1	8	15	22	29
	12月	6	13	20		
平成19年	1月	10	17	24	31	
		第一競技場	第一競技場	第一競技場	第一競技場	
	2月	7	14	21	28	
		第一競技場				
	3月	7	14	28		
	第一競技場	第一競技場				

☆ 10月18日だけ、開始時間は15時15分からです。

その他は従来どうり13時15分からです、ご注意下さい。

☆ 競技場の記入のない日は従来どうり第二競技場です。

# グランドゴルフクラブニュース

## 18年度前期の競技状況と成績

17期 (文化) 永田 祐千

今年度前期(4月4日～8月1日)は雨が多く、開催予定17回の内5回が雨で中止となりました。

競技日は8回開催されましたが、雨のためグランドが荒れホールインワンが減少しました。8月は夏休みでしたが後期は9月5日からスタートしました。

念のため当面の開催予定は下記の「表2」の通りですので参考にしてください。

尚、9月はサマータイム期間となりますので、午前9時30分開始です。

10月以降は10時となります。

### 記

「表1」 前期競技日成績上位者(5日以上出席者)

順位	氏名	平均スコア	順位	氏名	平均スコア
1位	春日井正幸	44.67 (2)	6位	近藤 清晴	48.00 (2)
2位	渡辺 忠	45.00 (1)	7位	山本きぬ子	49.43 (2)
3位	光崎 俊夫	45.43 (3)	8位	磯村 良治	51.50 (2)
4位	吉村 卓次	46.67 (2)	9位	伊藤 光子	53.40
5位	永田 祐千	46.83 (3)			

( )内はホールインワンの数

「表2」 9月～12月開催予定表

	競技日	練習日	競技日	練習日
9月度	5日	12日	19日	26日
10月度	3日	10日	17日	24日
11月度	7日	14日	21日	28日
12月度	5日	12日	19日	休み

☆プレー開始時間 10:00

サマータイム時 9:30

☆競技場

吹上インター 高架下

### 『お知らせ』

恒例の名東鯉友会との定期親睦競技会の日程が次の様に決まりました。

日時：平成18年10月20日(金) 9時30分から

会場：牧野ヶ池緑地公園 芝生広場

詳細は“昭和こじょう会便り”折込チラシをご参照下さい。

以上

## 俳句

紫又

石橋 政雄（十七期環境）

紫又の 路地折れ曲がる 梅雨じめり

呼び込みの 声煮き梅雨の 帝釈天

矢切の渡し 訪ふ道の辺の 七変化

雨重し 葦葦綻ぶ 渡し跡

梅雨の傘 さして矢切の 渡し往く

## 西尾

梅雨晴れの 天主に届く 子等の声

濼の水 よどみて青し 梅雨晴間

二番茶を 見守る丘の 常夜燈

お抹茶に 背筋を伸ばす 夏座敷

旧邸の 蚊遣河童の 形して

## ◎ 各区のOB会作品展に出かけましょう！

区名	鯉城会名	実施時期	場所
守山区	守山鯉城会	10月5～8日	黒川駅ギャラリー
天白区	天白鯉城会	10月7～8日	天白生涯学習センター
千種区	花水木鯉友会	10月11～14日	黒川駅ギャラリー
西区	西こじょう会	10月20～24日	黒川駅ギャラリー
南区	こなみ会	10月24～25日	南区役所講堂
東区	東鯉城会	10月26～28日	黒川駅ギャラリー
中村区	中村鯉城会	11月予定	
名東区	名東鯉城会	11月予定	

\*訃報

岡戸 治子さん	7期 文化（八事）	18年8月17日	ご逝去
謹んでご冥福をお祈り申し上げます			合掌

# ニュース

## \* 学園ニュース

- ① 体育祭 9月27日(水) 千種スポーツセンター
- ② 修学旅行 10月16日(月)～10月20日(金)
- ③ 文化祭 11月17日(金)～11月18日(土)
- ④ 公開講座 81回 10月13日(金)、鯉城ホール  
テーマ：地球温暖化に伴う地域気象の影響  
82回 11月29日(水)、鯉城ホール  
テーマ：スポーツにおける光と影

## \* 鯉城会ニュース

- ① 公開講演会 第11回 12月7日(木)、鯉城ホール 13:30～  
テーマ：健康とスポーツ  
講師：中日新聞社スポーツ事業部長 馬庭 重行氏
- ② 全市一斉グリーンキャンペーン、なごや2006  
11月11日(土) 清掃地区、中区栄地区

\*名古屋市の一斉キャンペーンに対して鯉城会は積極的に参加します。  
昭和鯉城会からも15名以上の多数のご参加を是非お願い致します。

## \* 昭和鯉城会ニュース

- ① この程次の方が新規に入会されました。  
15期(地域) 加藤 初雄さん
- ② 区民まつり 10月1日(日) 鶴舞公園

(編集後記)

今年の夏は、前半大雨で後半は厳しい残暑が続き 年々この暑さが身にこたえる  
今日この頃ですが、もうお彼岸ですね。秋は食欲とスポーツのシーズンです。  
鯉城会の行事に参加して体力を回復しながら、いつも自分を支えてくれる、家族や  
友達に思いをはせてみたいものです。

昭和鯉城会会報『昭和こじょう会便り』45号

発行責任者：後藤 昇三  
編集委員：大野 敏博 吉田 一郎  
小林 久江  
市川 賢 八神 邦子  
伊藤 敬子 中林 ハル子